

文部科学大臣

林 芳 正 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成29年12月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	稲	田	寿	久
鳥	取	県	市	長	深	澤	義	彦
鳥	取	県	市	議	坂	井		徹
鳥	取	県	町	村	森	安		保
鳥	取	県	町	村	川	上		守

「日本海の風が創り出す絶景

— 幸せを呼ぶ^{れいじゅうきりん}霊獣麒麟が舞う大地「^{いなば}因幡・^{たじま}但馬」 —

の「日本遺産」認定について

《提案・要望の内容》

○平成27年度から開始された「日本遺産」の認定制度に、平成28年度に引き続き本年度も申請を行う予定である。ストーリーの認定について、特段の御配慮をいただきたい。

○日本遺産が効果的な地域振興につながるよう、積極的な財政支援をいただきたい。

<参 考>

次の内容で申請を行う予定。

【構成団体】 鳥取県鳥取市、岩美町、八頭町、智頭町、若桜町
兵庫県新温泉町、香美町

【タイトル】

日本海の風が創り出す絶景

— 幸せを呼ぶ霊獣麒麟が舞う大地「因幡・但馬」 —

【ストーリーの概要】

日本海から吹き付ける季節風が雪・波・砂を運ぶ因幡・但馬。

豪雪が育てた杉林を背に佇む豪邸や森林鉄道、50 kmに渡り波が刻んだ奇岩が連なる海岸地形を利用した漁村の佇まい、さざ波模様の風紋が広がる砂丘に彩りを添える赤紫色のらっきょう畑。これらは風が運ぶ雪・波・砂の賜物である。

人々はこの絶景の大地で生きる心のよりどころとして、幸せを呼ぶ麒麟獅子舞を舞い続けている。



豪雪が育てた杉林（智頭町）



波が造形した奇岩
うらどめ せんがんまつしま
（岩美町 浦富海岸 千貫松島）



風が生み出した鳥取砂丘と麒麟獅子

小中学校の少人数学級の拡充について

《提案・要望の内容》

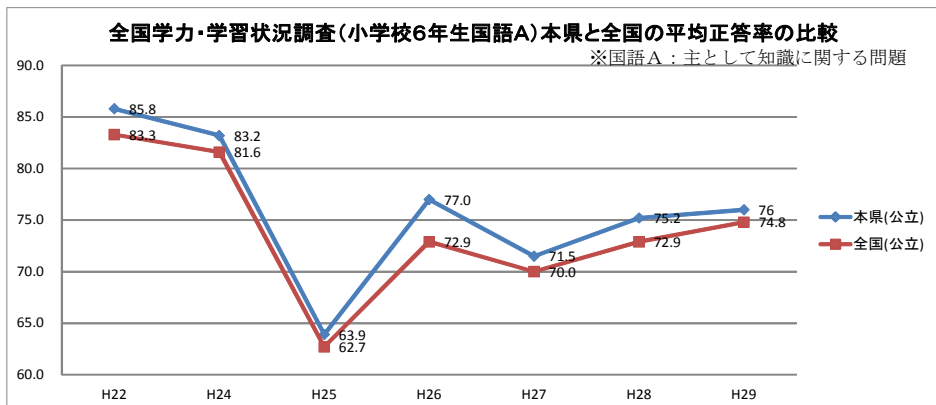
○児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を充実させることにより、学校生活や人間関係への円滑な適応、基本的な生活習慣の確立、及び基礎学力の定着を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、児童生徒が自ら学ぼうとする「意欲」や「好奇心」、「探究心」を育成するため、小学校1年生の35人学級のみならず、さらなる少人数学級の拡充を行い、教職員定数を改善すること。

<参考> 鳥取県の状況

1. 学力・学習意欲等の向上（全国学力・学習状況調査）

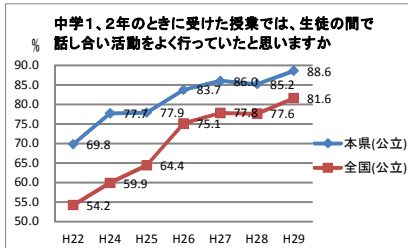
【学習面①】 基礎学力の定着

全国平均を上回る正答率



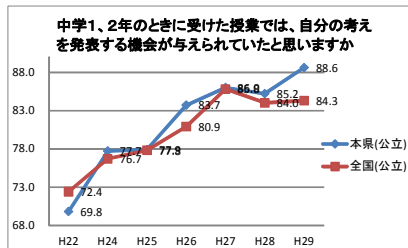
【学習面②】 ※質問紙(中学校) 主体的・対話的深い学びの実践

話し合い活動の増加



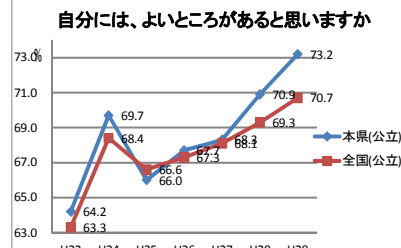
【学習面③】 ※質問紙(中学校) 主体的・対話的深い学びの実践

活躍する場面の増加



【心情面】 ※質問紙(中学校) 自己肯定感の向上

認められる場面の増加



2. 児童生徒に対するきめ細かな指導の充実

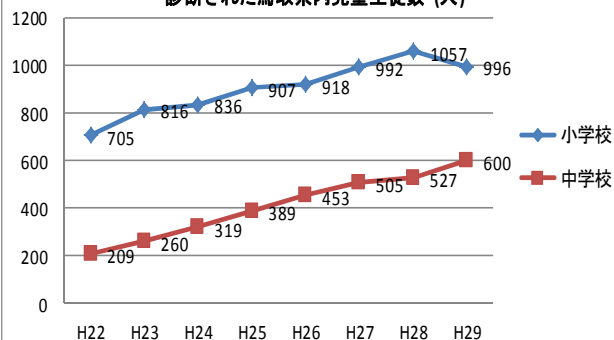
《近年の状況》

- ◆近年、発達障がいと診断される児童生徒の急増（下表） → 学級において特別な支援や配慮を要する場面が増加
- ◆社会の変化に伴い、児童生徒や保護者のニーズは多様化 → これまで以上に様々な教育上諸課題へ対応

少人数学級 拡充

- 児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導が可能
- 基礎学力の向上を図るとともに、児童生徒の状況を的確に把握し、課題に対して迅速かつ的確な対応が可能

通常学級に在籍する発達障がいと診断された鳥取県内児童生徒数(人)



学校施設整備に係る財源確保及び耐震化の促進等について

《提案・要望の内容》

- 私立学校がすべての耐震化事業を実施することができるよう、十分な予算を確保するとともに、補助率を引き上げ実情に沿った補助単価とすることに加えて平成30年度以降も延長するなど、耐震化補助事業の充実・改善を図ること。
- 公立学校施設の老朽化対策、トイレ改修、空調設置・更新等、喫緊の課題に対応するため、新增築事業はもとより、改築事業、大規模改造事業等の各種事業について、十分な予算の確保、補助要件の緩和及び補助率並びに補助単価の引上げをすること。
- 地方公共団体の負担を軽減するため、老朽化・長寿命化対策の補助対象外である県立高等学校については、地方債の償還に対する交付税措置を新設すること。

<参考>

1 鳥取県内学校の校舎等の耐震化率

区分	公立小中学校	県立高等学校	私立高等学校	私立幼稚園
鳥取県 (H29.4.1現在)	98.8% (711棟/720棟)	99.5% (207棟/208棟)	71.7% (43棟/60棟)	86.3% (44棟/51棟)
全国 (H29.4.1現在)	98.8%	97.9%	87.0%	88.4%

2 鳥取県内の私学財政状況

鳥取県内の私立高校は保有する基金が少なく、耐震化を進める上での隘路となっている。

平成27年度基金積立率 鳥取県14.7%、全国65.9%（「今日の私学財政」より）

各私立学校では、前向きに耐震化の検討を進めているが、多額の資金を要し、調整に時間を要することから、平成30年度以降も国庫補助制度を延長する必要がある。

3 現行の国庫補助率

現在、特に私立学校への補助率は公立に比べて低く、遅れている耐震化を進めるため、公立並みに引き上げる必要がある。

区分	現状	要望
私立学校施設整備費補助金、 私立幼稚園施設整備費補助金	耐震補強 Is値0.3未満 : 1/2	⇒2/3
	Is値0.3以上0.7未満 : 1/3	
公立学校施設の耐震補強・ 改築に係る耐震化補助事業 ※義務教育及び特別支援学校のみ	耐震補強 Is値0.3未満 : 2/3	⇒Is値に関わらず 2/3
	Is値0.3以上 : 1/2	
耐震改築 Is値0.3未満 : 1/2		
Is値0.3以上 : 1/3		

4 私立高等学校整備に係る国庫補助単価と実勢価格の乖離の例

・H29国庫補助単価

RC造(校舎) : 184,700円/㎡×0.95(本県地域係数) = 175,465円/㎡

S造(屋内運動場) : 167,800円/㎡×0.95(本県地域係数) = 159,410円/㎡

・H28からの私学県補助単価(実情を踏まえて国土交通省の新営予算単価を元に設定)

RC造 : 220,000円/㎡

S造 : 200,000円/㎡

5 公立学校整備に係る国庫補助採択状況

○H28第2次補正へ前倒し分

・交付金事業(予算補助) : 要望額 648百万円 ⇒ 採択額 648百万円

○H29当初分

・交付金事業(予算補助) : 要望額 65百万円 ⇒ 採択額 42百万円

○H30計画

・交付金事業(予算補助) : 要望額 436百万円